

徒歩〇〇分

新生活をはじめる方が多い季節。

引っ越し、家電、家具、スマートフォンのCMを頻繁に見かけます。

住居に関しては、日当たり、広さ、高さ、騒音など条件がたくさんあると思います。

特に主要施設からの距離は「徒歩〇〇分」と表されています。



この表示に関しては、

「不当景品類及び不当表示防止法」（通称「景品表示法」）第31条の「公正競争規約」規定により、不動産公正取引協議会連合会が「不動産の表示に関する公正競争規約・同施行規則」の「物件の内容・取引条件等に係る表示基準」で、

「徒歩による所要時間は、道路距離 80m につき 1 分間を要するものとして算出した数値を表示すること。この場合において、1 分未満の端数が生じたときは、1 分として算出すること。」としています。



この文面で行くと 1 秒～60 秒 80m までが「徒歩 1 分」で、61 秒は「徒歩 2 分」です。

徒歩毎分 80m は時速 4.8 km で、1 km 歩くのに 12 分 30 秒かかり「徒歩 13 分」となります。



100m を 10 秒なら 36 km/h、フルマラソンを 3 時間なら約 14 km/h です。

ナマケモノ 0.1～0.14 km/h、カメ 0.27～1 km/h、カバ 30～50 km/h、ネコ 48 km/h、熊 40～50 km/h、イノシシ 45～50 km/h、ライオン 60 km/h、ウサギ 60～80 km/h、トラ 65 km/h、馬 60～90km/h、グレイハウンド犬約 70 km/h の速さで走れるらしいです。

ほとんどの動物に最高スピードでは敵いませんが、人間は持久力では優れていると言われています。



でも野生動物と決して勝負しないでください、たぶん負けます。

しかも相手次第では負けた瞬間
ほぼ一巻の終わりです。



自転車約 15km/h、自動車約 40km/h、

津波は深い海では 700～800 km/h（ジェット機並み）、水深 10m で 34～40 km/h、土石流は 20～40 km/h、雪崩は 100～200 km/h（新幹線並み）と言われています。





さて、災害時に向かう避難所をハザードマップで確認されていることと思いますが、第一候補にされている避難所までどれぐらいの距離と時間を想定されているでしょうか？

河川は超えられないと考えておく必要があります。

液状化や倒壊物、火災、堆積物で引き返しや迂回を余儀なくされることも。

流水箇所や 30 cm以上の浸水箇所は歩行出来ないと思われます。

加えて目指した避難所そのものが使用出来ない状況など、第二、第三の候補も考えておく必要があります。

なお、避難の際、高層階からはエレベーターを使って降りることは出来ないことも。



停電した深夜、降雨、積雪、平時は気づかなかった高低差、小さなお子さん、杖が必要な方、介助が必要な方、ベビーカー、車椅子の方と同行する場合がありますし、非常持出袋など荷物を持っていることも考えると、歩行速度が低下し避難限界距離は必然的に限られてしまいます。



災害時の歩行速度は秒速 1mとする考えもあるようです。

1 時間歩ければ 3.6 kmですが、群衆内を移動する場合は更に遅くなります。

悪条件下 30 分が限界となる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

自動車による避難は渋滞を生み、その渋滞に阻まれほぼ動きません。

そこに津波が襲い流されてしまったケースが多く報告されています。

土砂災害に巻き込まれる危険性もあります。

交通が集中する橋や高架橋を中心に渋滞で動きません。



避難所には、広域避難場所、指定緊急避難場所、指定避難所、福祉避難所、一時避難所などがあり、避難所の立地条件などから地震、洪水、土砂災害、大規模火災それぞれに対応、非対応などの区別があります。

生き延びるために 今一度 備えを確認して下さい。

本番は確実に近づいてきます

その時、あなたは・・・？

〈 参 考 〉

消費者庁 <https://www.caa.go.jp/> 国土交通省 <https://www.mlit.go.jp> 不動産公正取引協議会連合会 <https://www.rftc.jp/>

国土技術政策総合研究所 <http://www.nilim.go.jp/lab>NHK <https://www.nhk.or.jp/> ねこちゃんホンポ <https://nekochan.jp/> 環境省 <https://www.env.go.jp>

PIXABAY <https://pixabay.com/> WIKIPEDIA <https://ja.wikipedia.org/wiki/>